

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	職員互助会補助事業			
担当部署・課長名	職員	課	研修厚生	係 課長名 矢吹勇一

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	行 - 2	-
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現	総合計画書 (ページ)	122	

予算名	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 1 一般管理費	事業 5 福利厚生事業
-----	---------	-----------	-----------	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 正規職員・再任用職員	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 4月1日付で在職している正規職員数・再任用職員数 (平成30年度実績506名)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 地方公務員法第42条の規定に基づき、職員の保健、元 気回復その他厚生に関する事業等が実施され、職員の健 康を保ち元気回復が図られている。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 補助金による職員互助会実施事業を利用した件数 (1人が複数の事業を利用可)
	③ そのために何をしましたか。 市から交付を受けた補助金にて、職員への福利厚生事業 を実施した。また、職員互助会としては、職員から徴収 した会費及び職員互助会の収益事業で得た収入等にて、 給付事業、貸付事業等を実施した。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 互助会補助金単価 単価8,400円×4月1日付で在職している職員数506人= 4,250,400円(平成30年度実績)

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	513	512	506		
	成果指標	②の数値	件	520	548	651		
	目 標	②の目標値				506	506	506
		目標値設定の考え方	福利厚生を必要とする職員(再任用職員を含む)に福利厚生事業を提供する。					
活動指標	③の数値	円	4,309,200	4,300,800	4,250,400			

3 経費	事業費(実績)	円	4,309,200	4,300,800	4,250,400	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	4,309,200	4,300,800		4,250,400
		特定財源	円	0	0		0
		(うち受益者負担)	円	0	0		0
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1		0.1
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	826,700	825,300	824,400		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	5,135,900	5,126,100	5,074,800		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 東大和市職員互助会は、平成5年4月1日に条例化された。(ただし、条例化される以前より任意団体として存続していた。)なお、職員の厚生福利制度の実施については、地方公務員法第42条の規定に基づき、地方公共団体の義務とされている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成21年度より、職員互助会の事業については、公費と会費・収益事業等で会計を別にし、各会計において支出する事業を明確にする等市民の理解が得られるよう努めている。

仕 事 の 内 容	職員互助会補助事業			
担当部署・課長名	職員	課	研修厚生	係 課長名 矢吹勇一

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	市民の理解が得られるよう、公費負担率のほか、職員互助会の事業内容の点検・見直しを継続する必要がある。			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	職員皆が公平に元気回復できるよう継続的に事業の見直しを継続していく。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 予算の範囲内で職員の元気回復につながるような事業を実施できるよう、日頃から社会情勢や他市状況等に注意を払う。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
成果	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			経費
	成果を向上させる。		仕事の経費は維持する。	